

文化施策セミナーふりかえりカードの質問事項について

9月3日に開催した文化施策セミナーの振り返りカード（アンケート）にいただいた質問に対し回答します。

- 1 事業名 文化施策セミナー
- 2 実施日 令和4年9月3日（土）
- 3 質問提出件数 10件
- 4 質問と回答

No.	質問	回答
1	・北上市では、基本計画の中の「障がい者などの芸術文化へのアプローチ機会の増加」との方向性の具体化をどのように考え、どのように進めていくことを指向しているか（関連機関や施設・事業者との意見交換を具体化する意向はないか）	・福祉関係機関や障がい福祉施設事業者等と意見交換を行いながら、アプローチの機会を増やしていきます。
2	・北上は企業立地でたくさんの企業がきている町です。これらの企業様方と芸術文化でつながり（人材、条例の中に取り入れられないか）をもつための計画がありますか。	・基本計画は市民と市が連携・協働・参画して進めるものです。市民には市内に事業所を置く事業者も含まれており、市内に住む人や働く人、学ぶ人、まちづくり活動をする団体と一緒に進める計画となっています。
3	・”北上らしさ”とは何でしょうか→新市民にどうアピールするのでしょうか。 ・”特色ある資源”とは何だと考えておりますか。 ・情熱とリーダーシップのある次世代の人材をどう育てていくのですか。	・”北上らしさ”とは長い間当市で守り継承されてきた民俗芸能を含む文化財や、豊かな風土から培われた地域の食文化等の生活文化です。民俗芸能の発表や有形文化財の展示の機会創出、情報発信などの効果的な活用を図ります。 ・”特色ある資源”とは例えば、鬼剣舞や樺山遺跡など国・県・市の指定文化財やきたかみ景観資産、地域にゆかりの深い芸術作品などのことです。 ・文化芸術を生かしたまちづくりを進めていくためには人づくりが非常に重要です。必要な専門人材の確保に努め、アートマネジメント研修などの各種研修会の参加機会を創出することにより、人材育成を図ります。
4	・3-2民俗芸能活動の推進と担い手の育成★民俗～●誇りの醸成とは具体的にどんなことを実施し、どんな成果を実施しどんな成果を上げていると市政側の方は感じておられますか。ちゃんと相手側が見えていますか？人とお金に余裕があるところと無いところで差が激しい様に感じているのですが…そのまま「時代の流れ」で切り捨てますか？	・民俗芸能の後継者不足が年々深刻さを増し、活動休止や活動継続が難しい団体があるなどの課題があるため、北上・みちのく芸能まつりなど発表機会の創出や子どもの民俗芸能の発表機会の創出、民俗芸能の保存や後継者育成に関するセミナーなどを実施してきました。基本計画では、民俗芸能を北上らしさの一つとして基本施策に掲げ、民俗芸能が将来に渡り継承されるように保存伝承活動や発表機会の創出、後継者育成などの取組を行うこととしております。
5	中川先生に、1「北上市文化芸術推進基本計画」策定にどのように関わられたか、また内容についてどのように評価されているか。2最近SDGsという言葉が様々な場所で聞かれるが、「誰ひとり取り残すことなく」ということに大切なことは何か。	・中川先生には、条例制定前から関わっていただいております。基本計画では構成や方向性について確認をしていただきました。基本計画について「地方自治体の文化行政がこの計画に沿って数値目標を分析や評価することにより科学的に展開されることを期待する」とお話いただいております。 ・「誰ひとり取り残すことなく」ということに大切なことは、社会的に弱い立場にある人々をも含め誰もが社会に参画する機会を持ち、健康で文化的な生活ができるよう潜在需要に対応することと考えます。
6	指定管理者に委託しているさくらホールに、市職員が天下りの場所ではどうか。理事長のあり方、方針など。	・文化交流センターさくらホールの管理運営に関する内容は協定により示しています。指定管理者の団体のあり方や運営方針については団体側の決定事項となります。
7	赤字事業というのは単純に文化としての魅力が足りない文化では？と思ったので、それをニーズとして掘り起こすことの正当性に疑問を感じた。例えば、ニーズはやがてダイヤモンドになることを想定するのか？（例えば、スマホは過去ニーズだったが、現在は誰でも必要とするダイヤモンドであり、真に必要なものであれば人は金を出さと思う）	・ニーズとダイヤモンドは対象の違いであり魅力の有無ではありません。魅力的な文化であっても、教育や福祉、医療、社会的に弱い立場にある人を対象とする事業についてはどうしても黒字が見込めないものであり、それをニーズと呼びダイヤモンドになることを想定するものではありません。
8	・「文化芸術」と「芸術文化」の違いを教えてください。（どのように考えたらいいか） ・今まで文化芸術に携わっている人にとってどういうことが変わってくるのか知りたい。	・明確な定義はありませんが、国の文化芸術基本法改正後、一般的には「芸術文化」は主に芸術に関するものをいい、「文化芸術」は芸術だけではなく生活様式なども含む広い範囲のものを指しています。 ・文化芸術に携わる人（文化芸術活動を行う者）は、自主的・主体的に文化芸術活動の充実を図り、多様な団体等と連携し、人材を育成する役割があります。また、文化芸術を生かしたまちづくりには、市民と市が連携・協働・参画によるみなさんの協力が必要なため、基本計画の基本方針や基本施策に基づいた取組が求められます。
9	花巻市は新図書館整備構想が10年間滞っています。「基本計画案」は理念やビジョンが無く、「基本方針」が3つだけ示されています。したがって箱ものありきで議論しているのでなかなか進みません。理念・ミッション・方針・目的などの区別や解説のある書籍や資料を教えてください。	理念（使命・ミッション）・政策（目標・戦略）・計画（戦術・行動計画）・実行（遂行・管理）についてセミナーで解説がありましたので資料をご覧ください。なお、セミナー講師の中川幾郎氏の著書については、セミナーの講師紹介に記載があります。
10	市民のアクションを行政が煙たがるような自治体はどうしたらいいのでしょうか？	市民のアクションがあることは、まちづくりを真剣に考えているということであり、すばらしいことと考えます。当市では市民活動団体が自主的に勉強会を重ね、条例制定の必要性について意見が提出されたことが、条例や基本計画策定の動きのきっかけになっています。あらゆる方面に継続的に働きかけることが重要だと考えます。